

2013 年 8 月 26 日「文鮮明真の父母宇宙聖和一周年追慕式参加報告」

本日は「天地人真の父母宇宙聖和一周年追慕式」の参加報告会でした。

恩恵交換の場となりました。

以下に、追慕式の様子と式典で語られた真のお母様のみ言を掲載いたします。

＜「天地人真の父母宇宙聖和一周年追慕式」の様子＞

統一教会創始者・文鮮明師の聖和（逝去）一周年を追慕する「文鮮明 天地人真の父母宇宙聖和一周年追慕式」が、天暦 7 月 17 日（陽暦 8 月 23 日）午前 10 時より韓国・清平の清心ワールドセンターで約 2 万 5 千名が参列する中、挙行されました。世界 194 か国の各教会でもインターネット中継を通じて式典に参加しました。

司会を務めた梁昌植・世界平和統一家庭連合韓国総会長の開会宣言で始まった第一部は、「天一国の歌」斉唱、報告祈祷、献花、文鮮明師ご夫妻の業績を紹介する映像上映、追慕の辞、追慕詩朗読、韓鶴子総裁のメッセージの順で行われました。

梁昌植総会長は開会宣言において、「本日の聖和一周年追慕式を迎え、天の父母様（神様）の解放と人類の救済、そして、恒久的な平和世界の実現のために全生涯を費やされ、『平和を愛する世界人』として生き、聖和された真の父母様（文鮮明師）に感謝を捧げるとともに、我々も真の父母様の生き様を相続し、そのように歩む我々となるための決意の場となることを願います」と訴えました。続いて、文師ご夫妻のご子息をはじめとして、海外からの VIP の代表、平和大使の代表、日本の責任者の代表らが順に文師の霊前に献花しました。

追悼の辞では、ソウル平和賞文化財団の李哲承理事長、仏国寺の性陀僧侶、アジア政党国際会議議長のホセ・デベネシア氏の 3 名が登壇。李哲承理事長は、文師の生涯の業績を称えながら、「70 億人類の中で、文総裁の存命中に直接の教えと特別の愛を受けた皆様が、文総裁が生涯をかけて追い求めた夢と願いの実現のために韓鶴子総裁のもとで大同団結し、世界中の人々の賛美と希望の姿となってくださいようお願いします」と参列者らを激励しました。

性陀僧侶は、「文鮮明総裁は人類救済・平和世界を実現するために、すべてを捧げられ、聖人の道を行かれた」とし、「平和運動家、思想家、教育者、メシアという言葉だけでは、文総裁を表現し切れない」と語りました。

ホセ・デベネシア・前フィリピン国会議長は、「文総裁は超宗教運動を推進してこれ、宗教団体と霊的指導者の間の相互協力なしには、国連の本質的な使命を果たすことはできない」とし、「文総裁が目指した平和世界を成就しよう！」と力強く語りました。

韓鶴子総裁はメッセージの中で、「真の父母様（文鮮明師）が何よりも願われていた南北統一の念願を相続し、アジアを越え、自由・平和・統一の幸福な地上天国を実現する時まで、前進、また前進して参りましょう！」と参列者らを激励しました。

＜真のお母様のみ言＞

尊敬する内外貴賓、そして今日追悼の辞を私たちの心情に響かせ一つにしてくれる貴いメッセージを下さった方々と愛する世界の統一家の食口の皆様、今日私たちは一つになりました。

今にでもさっと歩み出てこられて明るい笑顔で「あなたたち元気でしたか？」とおっしゃられるかのようです。

愛する平和大使、食口の皆様、私たちはこの時間心と願いを一つに集わせました。偉大なる教えを下さった真のお父様の業績を称えながら私たちが、現在に処した私が、私と私たちが必ずやそのみ旨を成して差し上げなければならないと決心しました。この聖和期間を中心として韓国と日本が一つになりました。

8月3日、北海道から出発し、日本列島を熱くさせた平和行進は韓半島の釜山を起点として、韓日が一つになり、臨津閣まで22日間の自転車行進はそれほどまでに願ってこられた祖国統一・南北統一を念願する実践でした。

今や私たちの精誠は臨津閣で終わるのではなく、白頭山を越えアジアを経て、全世界に天の願われる自由・平和・統一の幸福な地上天国を成し遂げるまで前進、前進するでしょう。

このよい日に貴い貴賓たちと愛する祝福家庭の食口たちとともに真のお父様を私たちの胸深くに愛します。「あなたと一つになった私となり、必ずや天の父母様と天地人真の父母様のみ旨を私の生涯に成して差し上げる子女になります。孝子になります。忠臣になります。」と決意するこの時間になることを切に願います。